

A グループ

- ① 皆さんの立場でどのように家族と話をしますか？
それぞれの立場で考えました。
 - ・本人のイライラなどは、皮膚科受診を勧めて改善を
 - ・家族、通院、訪問看護の状況把握
 - ・妻の認知症が進む、介護サービスの拡大を
- ② 本人・家族をどのように支えていくようにしますか？
 - ・サービス内容として身体
 - ・何かあった時、発見が遅れてしまうので、ヘルパーを増やす。
なるべく夫婦だけの時間以外を増やす
 - ・金銭管理、介護面について長女と話を詰めていく。

B グループ

- ① 皆さんの立場でどのように家族と話をしますか？
 - ・イライラや痒み、不安が見られるので夜眠れないのでは
↓
「不安とかを感じていますか」と確認
 - ・妻 布団をかぶっているのは、うつ傾向も考えられる。受診を勧める。
 - ・長女 洗濯物を妻の代わりにしてあげる。味の薄い物を差し入れ
 - ・夫婦 どういう状況になったら施設を考えるか確認する。
- ② 本人・家族をどのように支えていくようにしますか？
 - ・栄養指導、福祉用具の提案、いろんな方向から勧める。
 - ・妻の役割ができるように支援していく。

C グループ

- ① 皆さんの立場でどのように家族と話をしますか？
 - ・薬が飲めなくなったらどうするのか。
 - ・夜間眠れていない事から話をしていく。体の調子が悪くなったらどうするの？どう考えてる？具体的に聞いて行く。
- ② 本人・家族をどのように支えていくようにしますか？
 - ・本人、妻 不安を軽減して
 - ・妻 認知症への支援
本人に「自分に何かあった時、妻などをどうするつもりか？」

医師会理事の先生から

- ・イライラの原因が何かはっきり分からない。
- 二人の生活を支えるのは、
関わりを増やすことがかえって夫婦のストレスになるのではないか。

D グループ

- ① 皆さんの立場でどのように家族と話をしますか？
 - ・今のままで良いのではないか。今後の見通し、経過について話をしあけて覚悟をしてもらっておく。
- ② 本人・家族をどのように支えていくようにしますか？
 - ・いつでも相談にのるよ、いつでもサービスを入れられるよ、のスタンスをとって対応ができるようにしておく。
 - ・急変時の対応 何かあった時どうしていきますか。という話をしておく。
娘が一人で負うものではない。サービスが少ないと話し合う

E グループ

- ① 皆さんの立場でどのように家族と話をしますか？
 - ・他にどんなサポートができるか洗い出す。
- ② 本人・家族をどのように支えていくようにしますか？
 - ・味の濃い物が多いし、糖の過剰摂取もある。認知症の妻 ← 緊急時の対応を決めておく
 - ・妻の膝 痛み止めで介護の負担を減らす。

F グループ

- ① 皆さんの立場でどのように家族と話をしますか？
 - ・本人から妻や長女に情報収集
 - ・痛みへのアプローチ
 - ・関係性について個別に聞いて行く
 - ・本人への希望へのアプローチ → 妻への思い、家にいる事へのアプローチ
- ② 本人・家族をどのように支えていくようにしますか？
 - ・本人と妻
「もう少し楽にしませんか」とアプローチしてみる。
孫、ひ孫の成長を楽しみにしていませんかなど具体的に提示していく。

G グループ

- ① 皆さんの立場でどのように家族と話をしますか？
 - ・他のグループとほぼ一緒。長女は、ぼんやりと施設を考えているけど現状について長女に確認しておく。本人の事、妻の事。
- ② 本人・家族をどのように支えていくようにしますか？
 - ・支えること、サービスにし である。話をしっかり聞く支援をして本人の意向に沿ったサポートを勧める。

H グループ

- ① 皆さんの立場でどのように家族と話をしますか？
 - ・本人・妻・長女の意向を、先々の希望の確認。ねぎらい、負担、不安を確認していく。
 - ・食事 病気が悪化する可能性があることを説明し、すり合わせをしながら食事の見直し。

- ・二人で暮らしたい → 孫との交流が続けられるよう実現できるサービスを、一方的には拒絶が
でると思われる。